

第9回 協働のまちづくりフォーラム

高山市では、地域を支える多様な主体が協働し、地域課題の解決に向けた取り組みを促進するため、協働のまちづくりが本格的にスタートした平成27年度から「協働のまちづくりフォーラム」を開催しています。

第9回は、まちづくり協議会や市民活動団体だけでなく、個人や事業者の皆様にも参加いただき、交流会形式で実施しました。まちスポは、企画と当日の進行を担当。私たちが連携先を探している「企業と取り組む在住外国人向け防災教室」についても発表を行い、協働の呼びかけをさせてもらいました。協働の先にある”共創”に向けて、みんな

で取り組む価値を見出していけるようなフォーラムになっていきますように。今回は節目の第10回です！



開催日:日時: 2024年2月24日(土) 13:30~16:00
会場:高山市民文化会館 **参加者:**144名
主催:高山市協働推進課
協力:認定NPO法人まちづくりスポット



まちスポ飛騨高山 | 岐阜県女性のつながりサポート事業 |

イングリッシュスポット ~Tea Time~

元ALTと英語が得意なスタッフがお迎えする交流イベント。今回は、日本のお茶を飲みながら英会話を楽しみました。在住の外国人の方も参加くださり趣味や旅行、高山市のおすすめのレストラン・カフェ、好きな食べもの、休みの日は何をしていますか?など様々なトピックで盛り上がりました。参加者のみなさんが、笑顔だったのが印象的でした。

こちらのイベントは「岐阜県女性のつながりサポート事業」の一環で行っており、女性特有の悩みや相談も伺っています。この時間の常駐スタッフはすべて女性ですので、コロナ禍を経てひとりで抱えている思いなど、気軽に

お話しに来てください。生理用品の無料配布も実施しています。次回は今年度最後、3月9日(土)に開催です。お気軽にご参加ください。



日時:2024年2月17日(土)10:00~12:00
会場:まちスポ飛騨高山
参加者:19名

若者活動支援補助金 報告会

高山市は、今年度から若者がやりがいと生きがいをもって活躍出来るまちづくりを進めるため、若者が主体的に活動を始める第一歩を支援することを目的とした若者活動支援補助金を立ち上げました。合計11組が採択されその活動報告会【#たかやまユースプロジェクトつながるミーティング】が開催され、ひだ財団スタッフはファシリテーションとして参加しました。映画上映会、ショートフィルム制作、ボードゲーム制作、音楽ライブ、高校生マルシェなど個性豊かな活動報告を聞いた後は、これからの高山市でどうしたら若者が力を発揮できるか、団体ごとにモチベー

ショングラフを作成し、それを利用しながら高山市長も一緒に深めることができました。



開催日:2024年2月10日(土)
会場:高山市役所2階会議室
参加者:23名 **主催:**高山市総合政策課 **協力:**ひだ財団



早めの花粉対策を実施中
カスティード



夏に向けて体力作り実施中!
野首



卒論が終わってそろそろ卒業です
真田

最新の情報はこちら **更新中**
 ホームページ <http://machispo.org>

さるぼぼコイン クレジットでの 賛助会員入会が 可能になりました!
 詳しくはこちらをご覧ください!

活動を応援して下さる方を募集しています。
 ♡ 個人年会費 1口 ¥3,000
 ♡ 法人年会費 1口 ¥5,000

納入先

郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット
 飛騨信用組合 松泰寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット
 高山信用金庫 駅西支店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット

note ホームページのほか、noteやSNSも随時更新中。ぜひご覧ください

note <https://note.com/20121101/>

ひだっち blog <https://www.hida-ch.com>

まちスポとやま <https://www.machispo-toyama.org>

富山県女性のつながりサポート事業

富山県女性財団からの業務委託を受け、「女性のつながりサポート事業」の相談業務を実施しました。約1ヵ月という短い期間でしたが、10代から70代まで幅広い年代の女性からさまざまな相談を受け、ご希望に応じて生理用品やマスク等をお渡ししたり、行政の相談先をご案内したりしました。

まちスポとやま

終了後も引き続き「とやま ささえあい相談」の窓口を立ち上げ、富山県内で被災された方、避難されている方からの相談を受け付けています。



富山県女性のつながりサポート事業について

生活、子育て、友だち付き合いや人間関係などについて不安を抱える女性に対して気軽に相談し、サポートの一環で女性に必要な生理用品の支給をしています。

実施期間:2024年1月4日(木)~31日(水)
相談者数:32名
主催:認定NPO法人まちづくりスポット まちスポとやま
共 催:富山県、(公財)富山県女性財団



折しも、能登半島地震の発生直後ということもあったため、被災して買い物が困難になった方や地震の影響による心理的な不安、体調不良を抱える方からも相談が寄せられました。まちスポとやまでは、事業

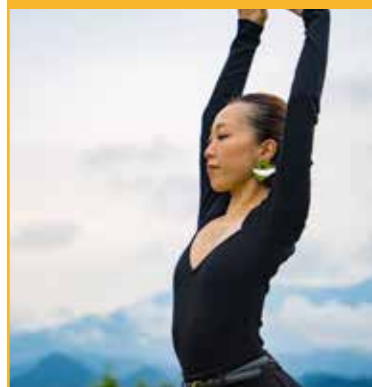
とやま ささえあい相談

富山県内で被災された方・県内に避難されている方のための相談を受け付けています。

TEL.076-461-3332 (相談受付時間:平日10:00~17:00) まちスポとやま

■ 協力: ささえあいネットワークとやま(仮称)
 さまざまな支援活動をおこなっている富山県内にある団体やグループのネットワークです。

飛び出せ★元気市民
高山



こどもの基地ねこのひげ
新体操教室Sawaro.RG

ちゃこ
茶子さん

子どもたちに
ありのままに
いらられる場所を

あるときはダンスで自ら表現し、あるときは子どもたちがありのままの自分を表現できるような場づくりに関わる。そんな茶子さんに、お話をうかがいました。

「ねこのひげ」に
関わるきっかけ

小中学生時代に不登校だった経験のある茶子さん。当時ドラマの『キッズ・ウォー』を観て、近所にこんな居場所があればいいのにと考えていました。不登校ではあったものの、クラシックバレエの教室には通い続けることで外の世界とのつながりがあり、自分自身を表現する機会があったことで救われていたといいます。大人になってから子どもたちが自由に過ごすことができる無料の居場所「こどもの基地ねこのひげ」に出会いました。「最初は子どもと接することに苦手意識がありましたが、“子ども”としてではなく一個人として対等な立場で関わって良いんだと、徐々に自分の思考が変化していったように思います。」

真逆の場作り
それぞれでの役割

ねこのひげでは関わる大人として“見守る人”に徹する茶子さん。ねこのひげは何をしてもいいし、何もなくてもいい場所ですが子どもたちがここで悲しい思いをしないように日々スタッフと話をしながら、子どもたちが安心できるような場所になるように心がけています。「クラシックバレエは大人中心の世界。美しさの基準があり、高い技術・表現力を磨き、自己表現する場です。逆に、ねこのひげは子ども中心の世界なので、子どもたちのありのままの感性を最大限引き出せるように見守るのが私たち大人の役割です。真逆の場づくりに関わっているからこそ、場の

多様化や選択できる余地があることの重要性を感じています。」

孤立や生きづらさを
自分ゴトとして考えてほしい

「子どもも大人もいろんな人が、ねこのひげを“あそこに行ったらホッとする場”として気軽に訪れることのできる場所にしていきたい。」という茶子さん。「ホームページやSNSの写真や文字だけの情報では伝わらない、子どもたちがありのままに過ごして遊んでいる姿やその時々々の温度感を体感してもらえたらうれしい。」と続けます。その言葉には、子どもと過ごすことに苦手意識のあった茶子さんが、ここに来て芽生えた価値観によって、新たな視点で子どもたちに関わりたいたいという強い意志を含んでいるように感じました。

ねこのひげは現在クラウドファンディングに挑戦しています。今の活動を継続していくために地域の方々や、孤立している不登校の子どもたちにも知ってもらえるように情報発信に力を入れていきたいと意気込みを語ります。

「子どもたちの不登校は増加し続けています。また、年齢に関係なく、鬱症状など目には見えない生きづらさを感じる人も増えています。そのようなことは、いつ誰(自分自身や身近な人)にでも起こり得ることです。だからこそ一緒に自分ゴトとして考えてほしいです。まずは関心を寄せていただくことから始まると思います。」と終始笑顔で話してくれたのが印象的でした。

(まちスポとやまサポーター 加藤英之)

Information こどもの基地・ねこのひげ クラウドファンディング挑戦中!!

こどもの基地ねこのひげとは、「ありのままの自分ありのままのあなた」こどもが自分の心を大切に、自らの人生を主体的に捉えて、自ら選んだ日々を過ごし、生きる力を育んでいくことを応援するこどもの居場所です。

住所：岐阜県高山市神明町 3-53
メール：nekonohige202304@gmail.com



▲HPはこちら



まちスポ飛騨高山

企業も取り組む
出張日本語教室&防災教育



■飛騨地域で暮らす外国人のために日本語教師による日本語教育と、有事の際に身を守れるように防災士による防災教育を合わせた教室を事業所に出向き行っております。

第5回目は、スパホテルアルピナ飛騨高山で清掃スタッフとして働くミャンマー出身の3名に受講いただきました。

1月1日に起きた能登半島地震で高山市内も激しい揺れがありました。「その時どこにいましたか?」「何をしていましたか?」日本語で会話をしながら共有をしたり、飛騨地域で起こりうる災害も勉強しました。後半は防災士と一緒に、常用持出袋の中身

を実物に触れながら学んだほか、ハザードマップで避難所の確認も行いました。受講してくれた3名は、実際に地震を体験されたこともあり真剣に学んでくれたのが印象的でした。

有事の際に大切な命が守れるよう一緒に取り組んでくださる企業を募集しております。詳しくは、まちスポホームページをご覧ください。
<http://machispo.org/companywithbousai/>

この事業は令和5年岐阜県 孤独・孤立対策官民連携事業の助成を受け今年度無料で開催しております。

開催日時：2024年2月5日(月) 15:00~16:00
会場：スパホテルアルピナ飛騨高山 受講者：3名

まちスポ飛騨高山

第25回スキマ研究会

みんなの選択Vol.4 ~ 乳がん検診について ~

■「乳がん検診」をテーマに開催。ちょうど1年ほど前に同じテーマで開催した時の参加者だった沖村里咲さんと丸山純平さん。2人はスキマ研究会への参加をきっかけに「知っているようで知らない必要な知識を寄せ集めたフリーペーパーの発刊」をしようとPOTLUCKという名前で活動を今年度から始動しました。その創刊号に、若者世代への乳がん検診の普及啓発に役立つ情報を入れたいと、今回満を持してスキマ案内人という立場で会の進行に挑戦してくれました。乳がんに関する取り組みをしている団体3組(中北薬品様、がんサークルOwls様、POLA様)をお呼びし、それぞれの特色を生かした活動を紐解きながら深く学ぶこと

ができました。今回の内容は、フリーペーパーPOTLUCKに掲載されるかもしれません。ぜひ見かけたら手に取って見てください。



開催日時：2024年2月1日(木) 19:00~21:00
会場：村半
参加者：12名

第26回スキマ研究会 「Discover Gero」

■合計26回開催してきたスキマ研究会。しかし下呂市内の”スキマ”について取り上げたことがありませんでした。どんなことに課題を感じているの? 下呂の魅力って? 下呂住民が感じるリアルを紐解くために「Discover Gero」と題して企画しました。当日は、下呂萩原にあるKaung day・桂川さんが淹れてくれたコーヒーを片手にディスカッションをしました。終始笑いの絶えない会に出てきたことは、情報格差、働く場の減少、空き屋問題、教育格差、などでした。その根底にあるのは、やはり人口減少であり、そこに危機感を感じている方が多かったですが、ミライに希望を持つ方が多く「じゃあどうするか?」とディスカッションを重ね、エネルギー溢れる会となりました。



開催日時：2024年2月22日(木) 19:00~21:00
会場：下呂オーガニックプレイス
参加者：15名

下呂市の
スキマを
考えよう